

29. JA愛知東助け合い組織 つくしんぼうの会

～ 元気な高齢者を作ろう。～

キーワード

地産地消

医療・福祉

女性の活躍



JA愛知東助け合い組織「つくしんぼうの会」メンバー



手作り弁当の盛り付けの様子



地元食材を活用した加工商品

活動のきっかけ

- ◆農村の高齢者対策としてホームヘルパーを養成。地域のお年寄りを元気にするとともに介護予防を目的として、平成10年に組織を設立

取組概要

- ◆お年寄りに1日6時間、体を動かすためのレクリエーションや手作り弁当を食べての交流会など、ミニデイサービスを実施
- ◆地域食材を利用した手作りお弁当や、地元野菜で作る無添加こだわりの加工商品（焼肉のたれ、リンゴジャム等）の製造・販売

活動の効果

- ◇ミニデイサービスは、地域高齢者単身世帯数の約3割が利用するなど、高齢者自身も介護予防（元気でいよう）への意識が向上
- ◇女性ならではの視点で行われる各種活動により、地域の子ども達や障がい者との交流も盛んとなり、過疎地域のコミュニティー維持にも貢献
- ◇手作りお弁当等の高齢者や地域住民への販売で、売上げが約12百万円から約21百万円（H23→H27）へ約2倍に増加

JA愛知東助け合い組織 つくしんぼうの会
 新城市平井字中田6-1(愛知東農業協同組合)
 TEL:0536-22-0014 FAX:0536-24-1585



30. つくでスマイル推進協議会

手軽に楽しむ「つくで高原」 ～つくでを元気にする挑戦～

キーワード

自然・景観

「食」の提供・活用

女性の活躍



農家レストラン「つくで田舎レストラン・すがもり」と鹿肉ハンバーグ



旧菅守小学校の跡地全景



子ども達によるピザ作り体験の様子

活動のきっかけ

- ◆平成25年3月末に小学校の統廃合により菅守小学校が閉校
- ◆地域の疲弊、地域のコミュニティー力の減退を懸念する住民の声がきっかけとなり、平成26年に地域活動組織として設立

取組概要

- ◆廃校となった小学校を交流拠点施設として整備し、ランチルームを利用した週末営業の農家レストラン「つくで田舎レストラン・すがもり」を平成26年にオープン
- ◆施設周辺全体を里山博物館として見立て、各種体験イベントを開催

活動の効果

- ◇農家レストランは年間約3,300人（H27）の利用者があり、売上げが約380万円（H27）に増加
- ◇農家レストランでは女性が活躍し、ジビエなど地域食材を使用した健康・安全・安心な食を提供し、地域を活性化
- ◇炭焼きや子ども達のピザ作り体験など各種体験イベントの開催により、都市住民との交流が活性化
- ◇道の駅「つくで手作り村」にレストラン2号店を出店し、田舎の駅的な機能を持たせ情報を発信

つくでスマイル推進協議会

新城市作手高里字縄手上60番地（新城市作手総合支所）
TEL:0536-37-2211 FAX:0536-37-2216

31. NPO法人 ^{ひがしちた} 東知多菜の花プロジェクト

～ 元気で楽しく、美しいまちづくりを推進。 ～

キーワード

子ども(教育・体験)

女性の活躍

高齢者の活躍



保育園児の菜の花収穫体験の様子



東知多菜の花プロジェクトメンバー



菜の花まつりの様子

活動のきっかけ

- ◆不耕作地の増加と高齢化が進む中、美しい景観の街づくりと高齢者が元気に活躍できる場所づくりを目的として、平成25年にNPO法人を設立

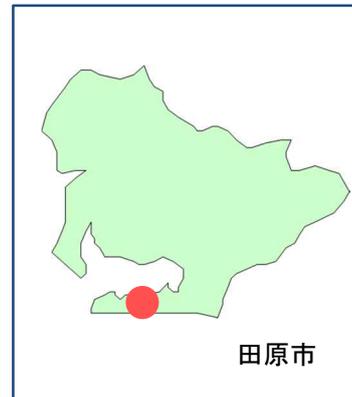
取組概要

- ◆大府市内の20ヶ所で、菜の花の栽培(種まき、栽培管理、収穫)と菜の花摘みを実施
- ◆子どもや福祉施設利用者による農作業体験(芋ほり、タマネギ植え付け等)を実施
- ◆菜の花祭り、ウォーキングなど都市住民との交流活動を実施

活動の効果

- ◇市内で菜の花が約8ha植え付けられ、耕作放棄地の解消と農村景観の維持・形成に寄与
- ◇保育園児、小学生や福祉施設利用者の農作業体験を通じた食育の推進
- ◇地元産の菜種で作った安全安心な「菜の花油」を学校給食や地域住民へ提供
- ◇菜の花の栽培管理、農業作業体験、菜の花祭りなど各種交流イベントで女性メンバーの活躍の場の創出

NPO法人 東知多菜の花プロジェクト
大府市柵山町8-69
TEL:0562-46-4053 FAX:0562-46-4053



32. ベジエール渥美

～ 渥美半島田原市の野菜・果物の応援隊 ～

キーワード

子ども(教育・体験)

地産地消

女性の活躍



保育園での食育講座の様子



イベントでの食育コーナーの様子



農産物販売イベント 田原フェアの様子

活動のきっかけ

- ◆農業地帯である田原市で、農業や野菜等に対して市民の関心が低い中、市の呼びかけによりジュニア野菜ソムリエが中心となり、平成26年に組織を設立

取組概要

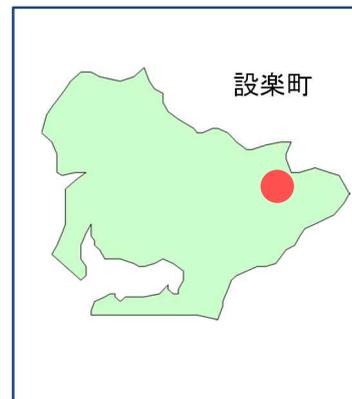
- ◆市内のホテルでマルシェや菜の花まつりなどの農産物の販売イベントを開催
- ◆保育園児、小中学生を対象に、絵本の読み聞かせや調理実習などを通じた食育講座を実施
- ◆地元野菜・果物を使ったレシピの紹介等により、渥美半島田原市をPR

活動の効果

- ◇食育講座の参加者が年間約 890人(H27)となり、料理教室の講師依頼が増加
- ◇市内での地元野菜の販売イベントでは、渥美半島田原市の農産物の魅力を伝える派遣依頼が増加
- ◇活動開始後間もないが、女性が中心となって活動の場が徐々に広がることで、地元野菜の魅力のPRや食育教育の推進に寄与

ベジエール渥美

田原市南番場30-1 (田原市役所農政課)
TEL:0531-23-3517 FAX:0531-22-3817



33. 奥三河つぐ高原 グリーンツーリズム推進協議会

～ 掘りおこしたむらの資源「ジビエ」～

キーワード

自然・景観

「食」の提供・活用

地産地消



奥三河つぐ高原マルシェ会場の様子



料理教室「食育Dining in つぐ高原」



ジビエ料理の出店の様子

活動のきっかけ

◆人口減少と高齢化による地域活力が低下したため、地域の豊かな自然や食を観光、教育等に活用し、都市との農村との交流促進、地域活性化と地域コミュニティ再生を目的として、平成25年に協議会を設立

取組概要

- ◆地域の食と文化を紹介するイベント「奥三河つぐ高原マルシェ～秋の収穫祭」を毎年開催
- ◆地元農産物と獣肉（ジビエ）を使用した商品の開発
- ◆地元の小学生親子を対象に、地元野菜とジビエを使った料理教室「食育Dining in つぐ高原」を開催

活動の効果

- ◇「奥三河つぐ高原マルシェ～秋の収穫祭」には、毎年約1,500人の来場者があり、都市と農村の交流が促進
- ◇ジビエ処理加工施設「奥三河高原ジビエの森」の整備により、地域内にジビエ販売という新しい産業を創出
- ◇秋の収穫祭も地域の恒例イベントとして定着、「奥三河高原ジビエの森」の取組がマスコミに取り上げられるなど、地域のPRにも貢献

奥三河つぐ高原グリーンツーリズム推進協議会
北設楽郡設楽町津具字下川原6番地1
TEL:0536-83-2114 FAX:0536-83-2335

34. ^{ふっと}古戸ひじり会

～ 古戸(ふっと)を第2のふるさとにしませんか! ～

キーワード

自然・景観

伝統・継承

定住・移住



東栄町



都市住民との交流イモ掘り体験の様子



「花祭り」の継承に向けた舞の練習



間伐材とチェーンアートづくりの様子

活動のきっかけ

- ◆過疎化、少子高齢化により、地域の自然環境や国指定の重要無形民俗文化財である「花祭り」の伝承が困難となる中、課題解決や地域活性化を目的として平成20年に組織を設立

取組概要

- ◆移住希望者の交流を通じて定住・移住の受入れを目指す「古戸おいでん塾」を開講
- ◆耕作放棄地を活用したそばや野菜づくり、間伐材を利用した散策路設置等の森林環境整備
- ◆国指定の重要無形民俗文化財である「花祭り」の保存・継承

活動の効果

- ◇「古戸おいでん塾」や交流イベントの参加者が、約100人から約200人(H23→H27)へ増加
- ◇活動をサポートする都市住民のボランティア組織「古戸応援隊」が設立(H25)され、外部から多様な人材を確保
- ◇8年間の交流活動を通じて、古戸地区へ1世帯、東栄町内に2世帯が移住
- ◇森林での間伐作業や散策路づくり等により、地区内に魅力的な景観が形成

古戸ひじり会 (東栄町役場総務課)
北設楽郡東栄町大字本郷字上前畑25番地
TEL:0536-76-0501 FAX:0536-76-1725

35. 茶臼の里合同会社

～ じじばばの 耕作放棄地解消と都市との交流 ～

キーワード

「食」の提供・活用

6次産業化

その他(農林漁業体験)



豊根村



田んぼオーナー制度を活用した稲のハザかけの様子



郷土料理「五平餅」の露店販売の様子



道の駅で地元野菜の販売

活動のきっかけ

◆少子高齢化、過疎化が進む三河山間地域の美しいふるさとを守り、いつまでもこの地域に住み続けたいという願いから、平成18年に地元住民が立ち上がり地域活性化を目的とした組織を設立

取組概要

- ◆道の駅の販売部門を請け負い、地元野菜等の販売やレストランを運営
- ◆耕作放棄地を活用して米作りを行い、道の駅やイベントで郷土料理「五平餅」として販売
- ◆田んぼオーナー制度を活用し、年4回交流事業を実施

活動の効果

- ◇お祭りなどの村内外のイベントへの積極的な参加で、農産物の売上げが約5百万円から約3千万円(H23→H27)へ約6倍に増加
- ◇2haの耕作放棄地を農地として再生
- ◇田んぼオーナー制度の取組により年間延べ約1千人が交流

茶臼の里合同会社

北設楽郡豊根村坂宇場字宮ノ嶋29-3

TEL:0536-87-2050 FAX:0536-87-2051



36. 豊根村

～ 愛知のてっぺんで「めざせ100万人！」～

キーワード

自然・景観

雇用

その他(地域活性化)



観光客で賑わう「芝桜の丘」の風景



芝桜のライトアップの様子



イベントでの五平餅の販売の様子

活動のきっかけ

- ◆三遠南信自動車道・新東名高速道路の開通を地域活性化のチャンスと捉え、平成26年に「観光交流アクションプラン」を策定
- ◆地域資源を掘り起こし、新しいアクションを村民みんなで起こし、元気な村づくりを目指す

取組概要

- ◆茶臼山に「芝桜」を40万株植栽
- ◆芝桜のライトアップや星空観察会など誘客イベントを開催
- ◆「愛知・長野県境域スタンプラリー」や「三遠南信食の祭典」など各種イベントを開催

活動の効果

- ◇芝桜まつり期間中(約30日)の観光客が、芝桜植栽時の約5万人から植栽完成後には約31万人(H19→H24)へ約6倍に増加
- ◇芝桜まつり期間中は、駐車場・案内係員の雇用など新たな雇用を創出。また、花畑の草取りなどの手入れは、村シルバー人材センターに委託し高齢者雇用にも貢献
- ◇豊橋駅からの直行便バスや周辺観光地と芝桜を観る観光バスツアーも定着

豊根村 (豊根村役場農林土木課)
北設楽郡豊根村下黒川字蕨平2番地
TEL:0536-85-1311 FAX:0536-85-5110